

＜自己評価＞ 及び ＜公開保育＞

所属 [学校名、機関名、法人・園名等]	園長名	作成日
社会福祉法人照治福祉会 清水認定こども園	前田 敦子	令和6年11月21日
評価の記録		
	評価者	
良い点	<ul style="list-style-type: none">自己評価は全般的に高い評価が得られている。自分で決めて自分で考えて行動するという姿が印象的である。園で子どもの自主性を重んじて経験を得ていることで子どもたちの「自分で！」という意欲につながっていると感じた。同年齢で学ぶこともあるが、混ざり合ったり助け合ったりなどがある異年齢保育が良いと思った。同年齢で分けるのは大人の視点であり子どもにとっては関係のないものだと思う。小学校でもあえてペア学年を入れているが異年齢の良さが見えている。ビジョントレーニングは「見る力」を養うという視点で体を動かす活動とワークを取り入れており、ワークに関しては難度を自分で選び、保育者からは取組む姿に肯定的な声かけがあった。遊び感覚で興味を引く環境になっているところが良い。	
改善点	<ul style="list-style-type: none">職員の離職率について、職員の入れ替わりが頻繁にならないよう、無駄な仕事を減らす、休んだときは誰かに任せて責任をもってやってもらうなど「お互いさま」という気持ちを伝えていってほしい。	
更に期待する点	<ul style="list-style-type: none">子どもの興味関心を見据えて取り組んでいる姿がとても大切で、今後も小学校へと繋いでいければと思っている。自主性が備わっていく事で、今後の人生の中で時間に縛られることがあったとしても、その中で自分はどのようにいけばいいかを考えていく力をつけて言ってくれればいいと思う。職員の働き方改革など前向きに取り組んでいく事が、職員にとってより良い結果となるよう改革を進めてもらえればと思う。	
評価を受けて	普段からの取り組みを公開保育として見ていただいたが、それぞれのクラスがそこにいる子どもたちの個性や思いに添った内容で展開されているので、主体性を重んじた取り組みへの意識も高まってきたように感じる。自己評価にもその思いが反映されており、比較的高い評価になっていた。今年度法人として働き方改革を行い、週休2日制を取り入れたり行事の見直し、事務時間の確保、効率化など様々な改善策を投じ現在に至っている。子どもや大人にとって、ゆとりある活動内容にしていくことで、職員の離職率も下げることに繋がっていくと感じている。	

|